

医療最前線

胸の鈍い痛み要注意

生活習慣の改善必要

□ 先進医療が力

心臓と血管は「生命を運ぶ臓器」と言われ、よくラジオラインに例えられます。東日本大震災で電気やガス、水道が寸断され日常生活がまひしました。同じように心血管系に障害が起きると大変な事態になります。代表的な心血管病である虚血性心臓病、不整脈、心不全についてお話します。

長寿のための心血管病の知識

共通している症状は、締め付けられるような左前胸部の鈍い痛みです。痛みのは局所ではなく、ある程度の広がりがあります。痛みが20分以内で治まれば狭心症、30分以上続けば急性心筋梗塞の疑いがあります。

健康講座

東北大学院医学系研究科循環器内科学分野教授 下川 宏明さん



しもかわ・ひろあき 1954年生まれ。福岡県出身。九州大医学部卒。メイヨークリニック研究員、九州大学院医学系研究科助教授などを経て、2005年から現職。06年米国心臓協会学会賞、14年ヨーロッパ心臓病学会賞を受賞。

波治療という最新治療が使われていて、日本でも2010年から先進医療として承認されました。

□ からつき危険

心臓には、刺激伝導系という電気回路があります。回路の途中に問題が生じると不整脈が起こります。ふらつきや失神は危険なサインです。

□ 突然死の原因

心不全は、心臓の機能が弱り、全身が必要とする血液を十分に送り出すことができなくなった状態で、急性心不全と慢性心不全があります。突然死の原因になります。

「最近、今までになかったふらつきが起る」といった場合は、不整脈の性質が変わってきている可能性があります。一度診察を受けてください。

役に立つ虚血性心臓病の知識

(胸痛の特徴)

- ① 症状: 締め付けられるような鈍い痛み
- ② 部位: 左前胸痛 (放散痛もあり)
- ③ 誘因: 運動や精神的興奮で増悪
- ④ 持続時間: 20分以下(狭心症) 30分以上(急性心筋梗塞)
- ⑤ ニトログリセリンが有効